



伊唐小学校、水辺の安全教室 自分の命は自分で守る

7月6日、水辺の安全教室を開催しました。教室は、夏になり児童らが水辺で遊ぶ機会が増えることから、安全意識の向上などを目的に町教育委員会社会教育課が、町内4つの小学校で実施しました。この日は、町民プールで伊唐小学校(向井理恵子校長・15人)の全児童が参加し、ライフジャケットの有用性や落水時の対処方法など、体験を通して学びました。村川叶音^{かのん}さん(6年)は「海やプールで遊ぶときは、今日の学びを生かし自分の命は自分で守れるようにしっかり行動に移したい」と話しました。



みんなの食堂すいせんの花 みんなで楽しく食事を

7月4日、茅屋自治公民館で、長島町ひとりで親寡婦福祉会「すいせんの会」をはじめ、ボランティアや民生委員、社会福祉協議会が協力して「みんなの食堂すいせんの花」が開催されました。

食堂には、地域の高齢者や町内の親子連れなどが訪れ、七夕が近いことから、願い事を書いた短冊をみんなで飾り付けました。その後、カレーやフライドポテトなどの美味しい食事を満喫。参加した吉武ミチ子さんは「子どもたちと話せる良い機会をもらった。次は友達を誘って来たい」と話しました。



指江の水源地で水神祭 これから安全な水を安定供給

7月10日、指江の魚釣瀬水源地で安全祈願祭を行い、水道工事指定工事店会会員など約20人が出席しました。

これは、水道の安全供給と共に水道工事の安全を祈願し、水の恵みへの感謝を捧げています。

同会の永岡軍治会長は「地域住民の生活を支えるライフラインの維持・整備を担う者として、これからも町民が安心して利用できる安全な水の安定供給を実現し、工事の安全を最優先に取り組んでいきたい」と話しました。



町建友会が清掃ボランティア 気持ち良く利用できるように

7月10日、長島町建友会(宮脇徳仁会長)が、小浜海水浴場とあづま海水浴場周辺の清掃ボランティア活動を行いました。

ボランティアは、毎年行われ、町のきれいな海岸を保つために、14社が作業に励みました。小浜海水浴場では、会員を代表して長崎直寿さんが「町内外からのお客様が気持ち良く利用できるようにみんなで力を合わせてきれいにしましょう」とあいさつし、会員らは、海岸内と周辺の道路、駐車場、伸びた木の伐採などの美化作業に汗を流しました。